

2020年度

副専攻コース履修案内

【平成 29 年度入学者用】

岡 山 大 学

目 次

1	コースの種類とコース開設学部等	1
2	履修対象者	1
3	履修方法等	1
4	修得単位の取扱い	1
5	修了証書の授与	2
6	その他の留意事項	2
●	各コースの履修方法等	3

1 コースの種類とコース開設学部等

コース名	開設学部等
日本語教育コース	基幹教育センター
ドイツ語コース	文学部
生物科学コース	理学部

2 履修対象者

平成29年度入学者の副専攻コースの履修対象者は、既に履修の許可を得た者に限りません。

3 履修方法等

各副専攻コースの授業科目の履修方法及び修了要件等については、3ページ以降の「各コースの履修方法等」を参照してください。

各コースの授業科目の内容、講義番号、授業担当教員、教室等については、上記を参考に、各自で教養教育科目又は各学部作成のシラバス・時間割等により確認してください。

なお、全学開放ではない専門教育科目をWebで履修登録する際、学生さん本人ではWeb登録できない場合があります。その際は所属学部の教務担当でお尋ねください。

4 修得単位の取扱い

副専攻コースで修得した単位は、教養教育科目を除き、原則として所属学部の卒業要件単位に算入されません。

履修を許可された者が、副専攻コースにおいて修得した授業科目・単位の取扱いは、以下のとおりです。（2年次の第3学期より前に修得した単位も含む。）

(1) 教養教育科目

教養教育科目については、所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱い（全学で定めている教養教育科目の授業科目に係る取扱いを含む。）によります。

これに含まれない授業科目は、副専攻コースの教養教育科目として取扱います。

注) 1 所属学部の卒業要件単位となっている教養教育科目が、同時に副専攻コースを構成する授業科目に該当する場合は、この科目を卒業要件単位と副専攻コース修了要件単位の双方にカウントします。

2 全学開放の専門基礎科目は、平成28年度以降入学者は教養教育科目の知的理解科目として扱われますので、副専攻コースを構成する授業科目に該当している場合は、この科目についても、副専攻コース修了要件単位として双方にカウントします。

(2) 専門教育科目

専門教育科目については、副専攻コースの専門教育科目として取扱います。

(3) 成績証明書等への科目区分の表記について

成績証明書等への表記は、修得単位の取扱いの(1)及び(2)の取扱いに基づいて、「その他科目」として表記します。

(4) 副専攻コースを修了できなかった場合の取扱い

副専攻コースを修了できなかった場合の取扱いについては、以下のとおりです。

学部	単位の取扱い
文学部	文学部の卒業資格単位（文学部履修細則第3条）に該当するものは卒業資格単位として算入する。それ以外については卒業資格単位に算入しない。
教育学部	教育学部の卒業要件（教育学部規程第16条に定める別表第8及び第17条に定める別表第9）に該当するものは卒業要件単位として算入する。それ以外については卒業要件に算入しない。
マッチングプログラムコース	マッチングプログラムコースの卒業要件（マッチングプログラムコース規則）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。

5 修了証書の授与

副専攻コースを履修して修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻コース修了証書が授与されます。

また、副専攻コースの修了者には、「副専攻コース修了証明書（副専攻コースの全修得科目も記載）」を交付します。

6 その他の留意事項

所属学部の卒業要件を満たした場合は、副専攻コースの履修が途中であっても卒業となりますので、以後の履修はできません。

●各コースの履修方法等

日本語教育コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：						
日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し、外国人に日本語を教えらるる教師養成を目指します。						
科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		
				年次	期	
※1 必修 科目	専門科目	日本語教材研究1	1	8	2年次	第3学期
		日本語教材研究2	1		2年次	第4学期
		日本語学概論1 ※2	1		3年次	第1学期
		日本語学概論2 ※2	1		3年次	第2学期
		日本語教授法概論	1		2年次	第1学期
		日本語指導法1 ※2	1		3年次	第1学期
		日本語指導法2 ※2	1		3年次	第2学期
		日本語教育演習1 ※3 ※6	1		3年次	第3学期又は第4学期
※1 選択 必修 科目		日本語教育とマルチメディア	1	4	1～4年次	第2学期
		異文化の中の心理と支援	1			第3学期
		言語と社会	1			第1学期
		第二言語習得論	1			第2学期
		日本語教育演習2 ※3 ※6	1			第4学期
		日本語研究と教材作成	1			2020年度開講なし
※4 選択 科目	教養教育科目	「日本語教育能力検定試験」の関連科目から選択	10	1～4年次	全学期	
		教養教育科目として開設する全ての外国語科目から ※5	2	1～2年次	全学期	
合 計			24			

注)

- 必修・選択必修科目は、日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能の養成のための科目です。
 - 「日本語教材研究1,2」を既に履修した者のみが、表中※2の科目を履修することができます。
 - 「日本語指導法1,2」を既に履修した者のみが、表中※3の科目を履修することができます。
 - 選択科目は、日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。外国語科目以外の科目名は、次ページを参照してください。
 - 選択科目の外国語科目については、本コースの履修の許可を審査する際、履修申請者からの既修得科目の当該科目への認定申請に基づき、本コースにおいて修得した科目として認定します。
 - 「日本語教育演習1」及び「日本語教育演習2」は2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認めません。
- ☆ 必修科目・選択必修科目の科目名に「2」がつく科目を履修する時には、同じ科目名に「1」がつく科目を既に修得していることが望ましい。

日本語教育コースの履修モデル（平成29年度入学者の場合）

平成29年度	選択必修科目・選択科目履修	8単位取得
平成30年度	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修（日本語教材研究1,2, 日本語教授法概論）	4単位取得 3単位取得
平成31年度 （2019年度）	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修（日本語学概論1,2, 日本語指導法1,2, 日本語教育演習1）	4単位取得 5単位取得

2020年度副専攻日本語教育コース対象科目

科目区分	授業科目	単位	講義番号 期別・曜日・時限
選 択 科 目	トルコ系民族の言語と文化	1	911002 1・月・5, 6
	日本の農業と農村社会	1	911107 1・月・7, 8
	日本史を見る眼	1	911006 1・火・1, 2
	王朝物語の世界3	1	911007 1・火・3, 4
	日本語学と言語表現	1	911051 1・火・5, 6
	教育の科学(心理学)A	1	911047 1・火・7, 8
	※文化人類学への招待	1	911010 1・木・1, 2
	※茶の湯にみる日本文化2:作法と精神	1	911109 1・木・5, 6
	※国語教科書を読む	1	911061 1・金・3, 4
	Japan in the Age of Globalization 2	1	911134 1・金・3, 4
	日本学入門	1	911112 1・金・5, 6
	日本サブカルチャー論	1	911168 1・金・7, 8
	留学生と学ぶ日本伝統文化	1	912013 第1学期集中
	人間関係とセルフケア	1	911001 2・月・3, 4
	※子どもの歴史の学び方	1	911050 2・月・3, 4
	紙と漢字文化	1	911060 2・火・1, 2
	王朝物語の世界6	1	911008 2・火・3, 4
	日本文化理解1	1	911129 2・火・3, 4
	※文化人類学への招待	1	911011 2・木・1, 2
	※アジアを知る	1	911024 2・木・1, 2
	日本語の音声	1	911028 2・木・3, 4
	映像でみる20世紀の日本と世界1	1	911029 2・木・3, 4
	※教養としての日本文学	1	911031 2・木・7, 8
	※キャリアデザインI コミュニケーション力に磨きをかける	1	912401 2・金・3, 4
	人間関係論入門	1	911033 3・月・3, 4
	社会心理学1	1	911042 3・月・3, 4
	※アジアを知る	1	911025 3・火・1, 2
	異文化組織で働く	1	911116 3・火・5, 6
	留学生支援ボランティア実習【注】2参照	1	912510 3・水・5, 6
	日本語の歴史と「狂言」のことば	1	911009 3・木・3, 4
	映像でみる20世紀の日本と世界2	1	911030 3・木・3, 4
	異文化接触の心理学	1	911039 3・木・3, 4
	日本のポップカルチャー紹介	1	911169 3・木・3, 4
	ひとの言葉の起源と進化論	1	911041 3・木・5, 6
	※茶の湯にみる日本文化2:作法と精神	1	911110 3・木・5, 6
	比較・国際高等教育論I	1	911117 3・木・5, 6
	Japan in the Age of Globalization 1	1	911133 3・木・5, 6
	Global Sociology: Understanding Diversity	1	911137 3・木・5, 6
	創造的討論技術を学ぶ スペシャル	1	912026 3・木・7, 8
	グローバル社会における日本語教育	1	911119 3・金・5, 6
	国際協力とプロジェクト管理	1	911120 4・月・7, 8
	Cross-Cultural Experiences	1	911138 4・月・7, 8
交流による子どもの成長支援I	1	912017 4・月・7, 8	
※アジアを知る	1	911026 4・火・1, 2	
※国語教科書を読む	1	911062 4・火・5, 6	
映像でみる20世紀の日本と世界—戦後復興から高度成長期まで—	1	911043 4・木・3, 4	
※キャリアデザインI コミュニケーション力に磨きをかける	1	912402 4・木・3, 4	
※教養としての日本文学	1	911032 4・木・5, 6	
※子どもの歴史の学び方	1	911055 4・木・5, 6	

	茶の湯にみる日本文化1：日本の美と文化史	1	911111	4・木・5, 6
	創造的討論技術を学ぶ デラックス	1	912027	4・木・7, 8
	語学研修・サマーコース 【注）2参照】	1	911124	夏季集中
	小中学生の協同教育のための教材開発	1	912039	夏季集中
	語学研修・スプリングコース【注）2参照】	1	911125	春季集中
	異文化理解1	1	911127	春季集中

必修科目	日本語教授法概論	1	911093	1・火・3, 4
	日本語指導法1	1	911089	1・火・5, 6
	日本語学概論1	1	911091	1・金・3, 4
	日本語指導法2	1	911092	2・火・5, 6
	日本語学概論2	1	911094	2・金・3, 4
	日本語教材研究1	1	911095	3・火・5, 6
	日本語教育演習1	1	911097	3・水・3, 4
	日本語教材研究2	1	911096	4・火・5, 6
選択必修科目	日本語教育演習1	1	911098	4・水・3, 4
	言語と社会	1	911090	1・火・5, 6
	日本語教育とマルチメディア	1	911088	2・月・3, 4
	第二言語習得論	1	911101	2・火・3, 4
	異文化の中の心理と支援	1	911100	3・火・3, 4
	日本語教育演習2	1	911099	4・火・3, 4

注)

- 各授業科目の内容については、教養教育科目のシラバスで確認してください。
科目によっては、受講要件がありますので、特にご注意ください。
- 複数の期別・曜日・時限に開講される科目であっても、同一名の授業科目は、重複して履修することができません（表中の※印の科目）。また、※印以外の科目でも、昨年度以前に単位を修得した科目（読替科目を含む）は、重複して履修することができません。
ただし、「留学生支援ボランティア実習」は、昨年度以前に単位を修得していた場合でも、重複して履修することができます。副専攻コースの修了要件単位として、合計で最大2単位まで算入できます。
また、「語学研修・サマーコース」「語学研修・スプリングコース」（平成29年度以降開講）も、重複して履修することができます。副専攻コースの修了要件単位として、各科目それぞれ合計で最大2単位まで算入できます。
- 「日本文化理解1」は重複履修可能な科目ですが、副専攻コース修了要件としては1科目しか認められません。
- 対象科目は上記に掲げているものに限り、同一の授業科目名であっても、期別・曜日・時限が異なるものは対象となりません。

ドイツ語コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

ドイツ語を話し・聞く力、読む力、書く力それぞれについて特化された授業が用意されている。各受講者は、それぞれの目標にあわせて履修内容を組み立てることができる。バラエティに富む授業を履修することによって、ドイツ語運用能力の向上が可能となる。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘 要	
必修 科目	教養教育 科目	ドイツ語初級Ⅰ－1（文法）	1	8	1年	○ 以下の科目は必ずセット で受講すること。 また、必ず初級Ⅰ－1→ Ⅰ－2→Ⅱ－1→Ⅱ－2 の順で履修すること。 〔ドイツ語初級Ⅰ－1（文法） ドイツ語初級Ⅰ－2（文法） ドイツ語初級Ⅰ－1（読本） ドイツ語初級Ⅰ－2（読本） ドイツ語初級Ⅱ－1（文法） ドイツ語初級Ⅱ－2（文法） ドイツ語初級Ⅱ－1（読本） ドイツ語初級Ⅱ－2（読本）〕 ○ ドイツ語初級Ⅰ，Ⅱ （文法／読本）は、ドイツ 語初級Ⅰ，Ⅱ（総合）の修 得単位をもって、本コース の修了要件単位とすること も可能。 ○ ドイツ語中級は、2単位 まで、本コースの修了要件 単位に算入する。
		ドイツ語初級Ⅰ－2（文法）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅰ－1（読本）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅰ－2（読本）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ－1（文法）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ－2（文法）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ－1（読本）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ－2（読本）	1		1年	
選択 科目	専門科目	ドイツ語コミュニケーション1 a	1	0～4	1年	
		ドイツ語コミュニケーション1 b	1		1年	
		ドイツ語コミュニケーション2 a	1		1年	
		ドイツ語コミュニケーション2 b	1		1年	
	教養教育 科目 専門科目	ドイツ語中級	1	8～10	2年	
		ドイツ語読解法 a	1		2年	
		ドイツ語読解法 b	1		2年	
		時事ドイツ語 a	1		2年	
		時事ドイツ語 b	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション3 a	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション3 b	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション4 a	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション4 b	1		2年	
		ドイツ語総合演習1 a	1		2年	
		ドイツ語総合演習1 b	1		2年	
		ドイツ語総合演習2 a	1		2年	
		ドイツ語総合演習2 b	1		2年	
		ドイツ語上級 a	1		4～6	3年
		ドイツ語上級 b	1			3年
		ドイツ語翻訳法 a	1			3年
ドイツ語翻訳法 b	1	3年				
ドイツ語総合演習3 a	1	3年				
ドイツ語総合演習3 b	1	3年				
ドイツ語総合演習4 a	1	3年				
ドイツ語総合演習4 b	1	3年				
合 計			24			

- 注) 1 文学部学生は、このコースは履修できません。文学部外国語習得・留学プログラム科目一覧（ドイツ語）に沿って授業を履修してください。
- 2 履修を希望する場合は、希望科目の初回の授業に出席して、授業担当教員へ「ドイツ語コース」の履修を希望している旨を伝えてください。
- 3 各授業科目の内容については、教養教育科目及び文学部のシラバスで確認してください。
- 4 各授業科目の授業時間帯については、教養教育科目及び文学部の授業時間割で確認してください。

生物科学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

生命現象の基本原則と多様性について、遺伝子、タンパク質、細胞、組織、個体の各レベルから総合的に学習する。

科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要
					年次・期	
必修科目	専門科目	分子生物学ⅠA	1	4	2年次第3学期以降	全科目とも、2年次第3学期以降に履修すること。 また、履修に際しては理学部学生便覧及びシラバスを参照し、予め本コース開講学科（生物学科）の教務担当委員と相談すること。
		分子生物学ⅠB	1			
		植物生理学Ⅰ	1			
		植物生理学Ⅱ	1			
選択科目	専門科目	細胞生物学ⅠA	1	20		
		細胞生物学ⅠB	1			
		細胞生物学ⅡA	1			
		細胞生物学ⅡB	1			
		生化学ⅠA	1			
		生化学ⅠB	1			
		生化学ⅡA	1			
		生化学ⅡB	1			
		遺伝学ⅠA	1			
		遺伝学ⅠB	1			
		遺伝学ⅡA	1			
		遺伝学ⅡB	1			
		分子遺伝学ⅠA	1			
		分子遺伝学ⅠB	1			
		分子遺伝学ⅡA	1			
		分子遺伝学ⅡB	1			
		発生生物学ⅠA	1			
		発生生物学ⅠB	1			
		植物細胞生理学Ⅰ	1			
		植物細胞生理学Ⅱ	1			
動物行動学Ⅰ	1					
動物行動学Ⅱ	1					
生体制御学ⅠA	1					
生体制御学ⅠB	1					
神経生物学ⅠA	1					
神経生物学ⅠB	1					
合計				24		

- 注) 1 理学部学生は、このコースは履修できません。
2 受講希望者は履修計画について理学部生物学科の教務担当委員と相談すること。